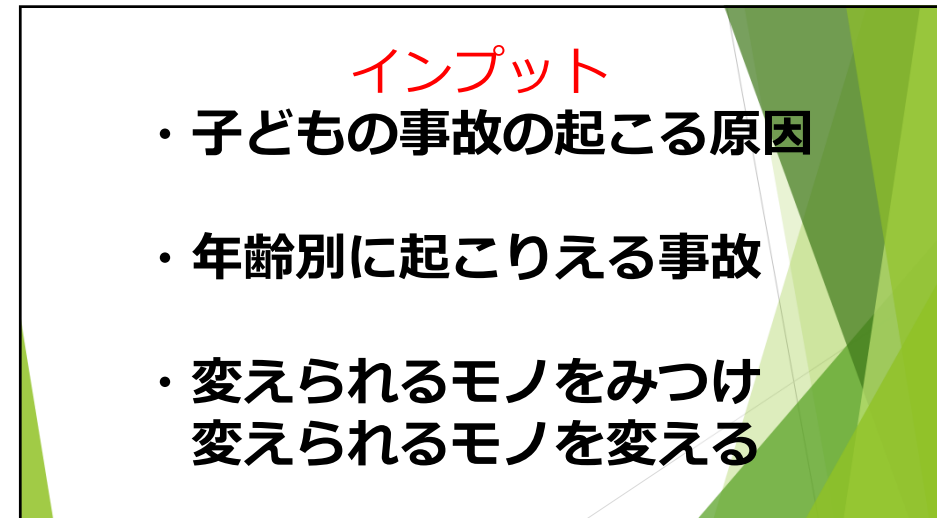


子どもの傷害予防リーダー養成講座

活動した3つのアウトプット

OTOKUNIレザミ 田中昭美

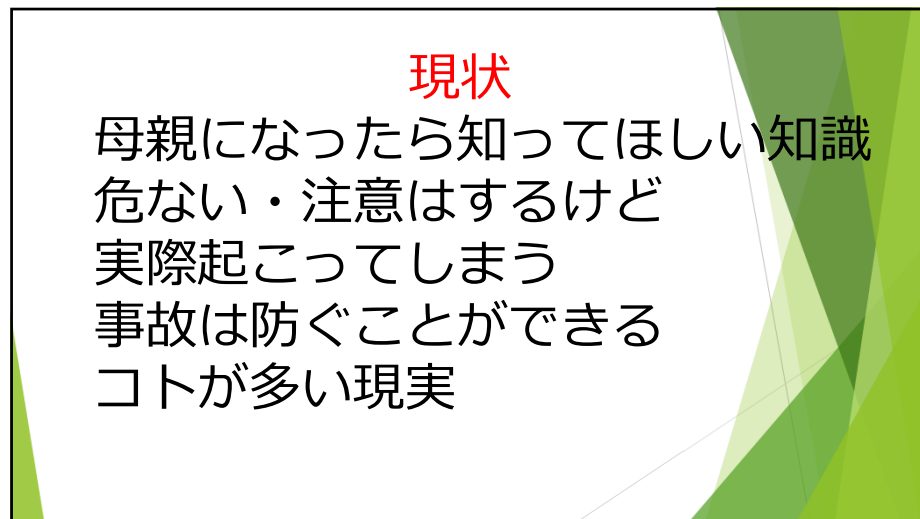
1



インプット

- ・子どもの事故の起こる原因
- ・年齢別に起こりえる事故
- ・変えられるモノをみつけ
変えられるモノを変える

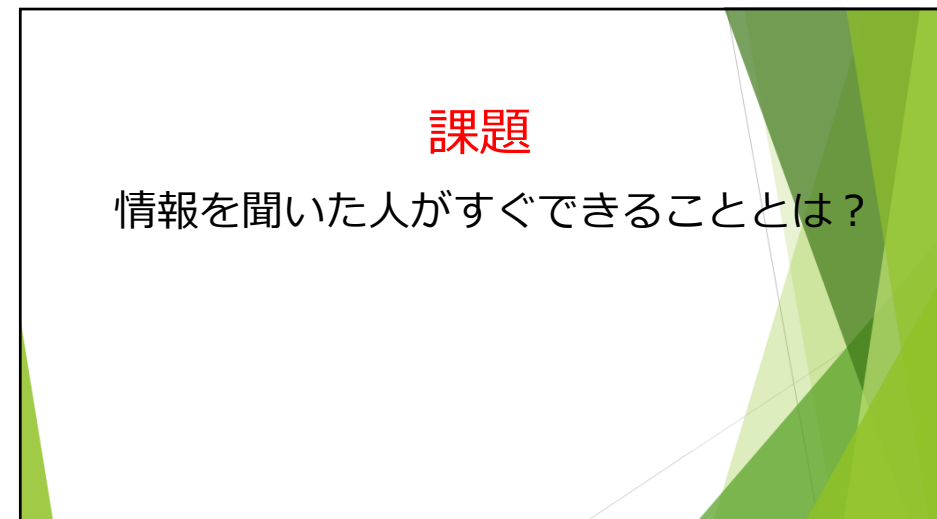
2



現状

母親になったら知ってほしい知識
危ない・注意はするけど
実際起こってしまう
事故は防ぐことができる
コトが多い現実

3



課題


情報を聞いた人がすぐできることとは？

4

3つのコトをアウトプット

- 1 誤飲・誤嚥を知ってもらう
- 2 火をついたときにとる行動
- 公園での遊具

5



1・誤嚥・誤飲

ママパスポート長岡京への掲載
対象0歳から3歳児のいるママへの情報紙

日常でできる・気を付けるコトをママ目線で

おさんぽ・・
子どもの目線にたつと口に入れたいものが多い

お弁当・・
ピックつまようじ・
トマトやうずら卵などもカットして入れる
豆類の危険なども注意喚起

6




2・火がついた時の行動

20代のミュージシャンにも
【STOP・DROP&ROLL】
啓発運動の協力要請

楽しく口ずさむことが
できるようなPV撮影

いんぷあんとROOMさくらんぼ
傷害予防動画作成
市民(子ども・ママ・若者)

7



3・公園での体験取材協力

12年間に全国37の都道府県で、
133件の事故が起きている

NHKが取材した結果、
重大な事故につながるおそれがあることがわかった後も、
全国の公園で使われている「危険な遊具」
が少なくともおよそ1万基あることがわかりました。

そもそもの「構造」、
遊具のつくり方に危険性があった可能性

子どもが3歳の時、公園での怪我
行政の対応などを取材に協力

<https://www3.nhk.or.jp/news/html/20191213/k10012214251000.html>

8

傷害予防養成リーダーたちが、
自分の活動に少しでも傷害予防を
取り入れることで普及していく
のでアウトプットを心掛けましょう

9

ご静聴ありがとうございました

10